

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 184

事務事業名	長寿祝金事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	林 哲也	内線	89-101

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020202	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者の生きがいをづくりと介護予防の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	2	老人福祉費	
事業コード	050200	単独助成事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内に居住するもので、住民基本台帳に記載されている満100歳の年齢に到達した者		
意図	健康長寿の節目である100歳到達を顕彰することにより、市民の健康長寿に対する意識を高めるとともに、高齢者の生きがいをづくりを推進する。		
事業概要	100歳到達者を対象に、祝賀状や記念品等を贈呈する。		
事業期間	平成 14 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市長寿祝金支給要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 支給金額	計画値	690	1,200	840	900	
		実績値	540	1,020	630		
	② 支給対象者×支給単価	達成度	%	78.3%	85.0%	75.0%	
		計画値					
成果指標	① 支給対象者×支給単価	計画値	23	40	28	30	
		実績値	18	34	21		
	達成度	%	78.3%	85.0%	75.0%		
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	372	1,270	790	1,115	967	967	967	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	372	1,270	790	1,115	967	967	967	
② 人件費(千円)	79	1,209	776	727	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.01	0.16	0.11	0.10	100歳の誕生日に市長が自宅または施設を訪問し本人、家族を祝福する。	100歳の誕生日に市長が自宅または施設を訪問し本人、家族を祝福する。	100歳の誕生日に市長が自宅または施設を訪問し本人、家族を祝福する。	
時間外勤務(時間)	0	0	0	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	451	2,479	1,566	1,842				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度は、21名の100歳到達者に対し顕彰を行った。
事業が抱える問題・課題等	対象者が高齢であることから、健康状態によっては、施設や家族等への連絡が困難な場合がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	100歳の長寿を迎えられたことを市が敬意をもって顕彰することは、市民の健康長寿に関する意識を高めるうえで必要と考えている。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	対象者の100歳到達までの人生の歩みにおいて、市のまちづくりに対する貢献に対する感謝を含め、市が直接実施する必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	家庭や施設を訪問して顕彰することで、本人はもとより、家族のほか施設職員や他の入所者も非常に満足していることから、事業の成果は高い。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	長寿の顕彰事業があることで、ひとつの長生きをする目標となり、また顕彰により生きがいを感じることが出来ることにもつながることから、上位施策の目標達成の手段としての効果は高いといえる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	贈呈品は、祝賀状と記念品等であり、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	高齢化の進展に伴い、健康長寿の重要性は益々高くなることから、現状の方法により事業継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	健康長寿に対する市民の意識が高まり、高齢者の生きがいづくりが促進される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。